

◎ めあて

声に出して読み、「私の枕草子」を書こう。

☆ 教科書の22～26ページを開いて、それぞれの季節の情景を想像しながら音読しましょう。
読んだら○

☆ 教科書の27ページを参考にして、言葉マップをつくり、「私の枕草子」を書きましょう。

① どの季節で書くか決め、言葉マップで想像
を広げましょう。

② 「私の枕草子」を書きましょう。
(たて書きで。名前も忘れずに。)

季節:

◎ めあて

「薫風」に対する黛さんの思い出をまとめよう。

☆ 教科書 28 ～ 31ページを音読しましょう。

読んだら○

☆ 「薫風」の意味を辞書などで調べましょう。

☆ 筆者の黛さんの「薫風」の思い出は、「花みかんのかわり」と「なき祖父の着物のにおい」です。それぞれの思い出を、八十字～百字でまとめましょう。

花みかんのかわり

100 80

なき祖父の着物のにおい

100 80

◎ めあて

日高さんのしょうがいしている「迷う」「迷わない」の事例と筆者の考えを表にまとめよう

☆ 教科書 32 ～ 39 ページを音読しましょう。 読んだら○

☆ 筆者の日高さんは、いろいろな「迷う」をしょうがいしています。()にあてはまるよばを教科書から探して書き、表にまとめましょう。

	事例	筆者の考え
迷う	<p>() 人のXニ一選ぶ</p> <p>() の書き取り試験</p> <p>道に()。</p> <p>() の妻が() をとりに行くか、夫を待つか。</p>	<p>() に決断を下しても、() ということもあるし、決断を下した結果が思いの外よくなくて、() しまうということもある。</p> <p>迷いのない人生なんて() だろう。</p> <p>先のことみなわかっていたら、() なんがなくなって、() とする気も、うせてしまうのではないだろうか。</p>
迷わない	<p>() に関しては、道に迷うということは全くない。</p>	<p>()</p>

◎ めあて

個性的な表現や、筆者のものの見方や考え方に触れ、随筆に親しもう。

☆ 教科書 40 41 ページを参考にして、薫風と「迷う」の2つの随筆を比べ、次の点を意識してまとめましよう。

① 個性的な表現

薫風	「迷う」

② 筆者のものの見方・考え方

薫風	「迷う」

☆ 薫風と「迷う」の2つの随筆に対する感想を書きましよう。

「迷う」	薫風

図に表して考えよう

名前

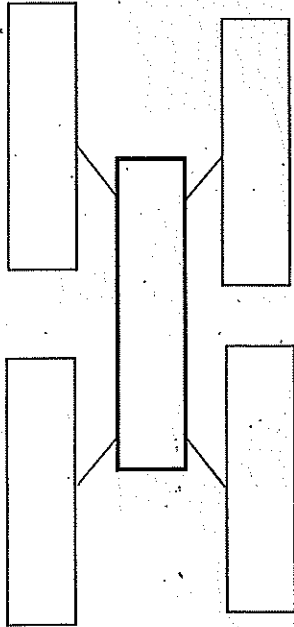
◎ めあて

考えや意見を図に表して、整理してみよう。

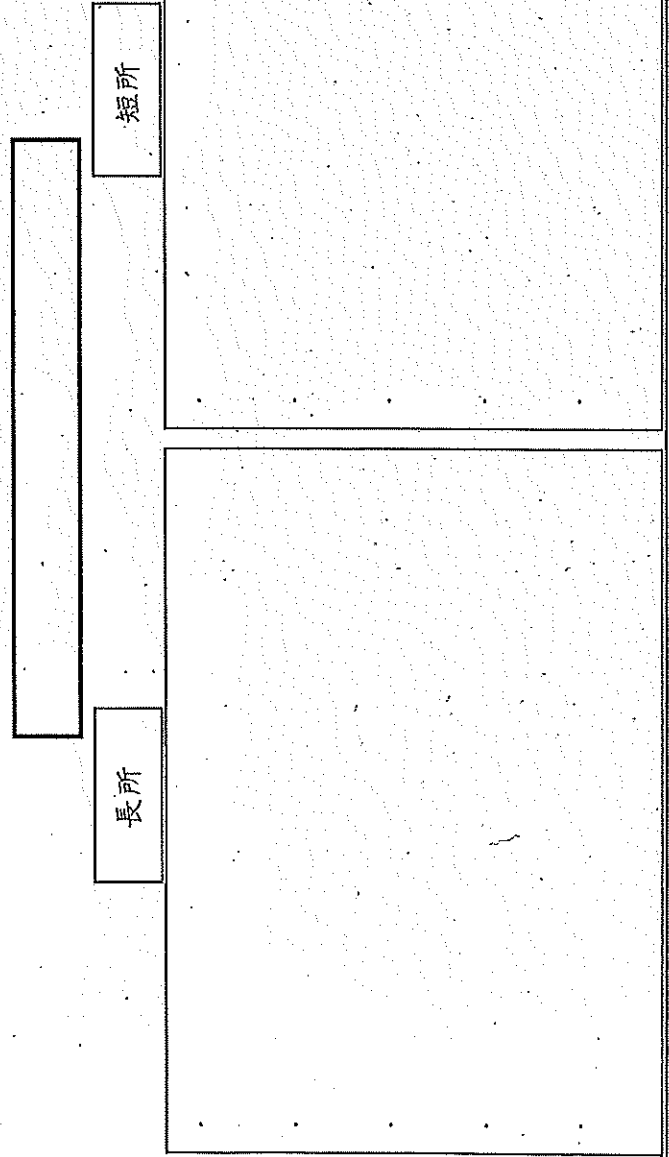
☆ 教科書の18～20ページを参考にして、「」の中のテーマから一つ選び、次の①、②の場合の図を作りましょう。

テーマ インターネット ・ けいたい電話 ・ テレビ ・ ふれあい活動 ・ その他(自分でテーマを決める)

① 発想を広げたいとき(図を加えていきましよう)



② 分類したり、比べたりしたいとき



随筆を書こう①

教科書四十二ページの名前()

☆学習のゆえに心を動かされた出来事から書く事柄を決め、随筆を書こう。

I 随筆とはどのような文書か、四十二ページを参考にしよう。

随筆とは、筆者が、ある(1)) なしな
通して、(2))、(3))、
(4)) を書いた文書だ。

II 書く事柄を決めよう。

(1) 教科書四十三ページを参考にしよう、そのトピックから選ぶ。

<身近な出来事>	<自然>	<目標>
<行書>	<人>	<その他>

(1) その中から、自分の書いたトピックを決めよう。

※ 1. 自然 ① 動物や植物 ② 自然の音や匂い ③ 感動 ④ 出来事